

# 省エネ教育後押し

## 学生服販売金から寄付

### 27日に 京都御池中 初の出前授業

#### 下京のNPOが仕組み



制服にタグを付け、販売代金の一部を省エネのための寄付に回す仕組みをPRする(京都市下京区)

学生服の販売代金から寄付を受け、太陽光発電設備の普及や環境学習の経費に充てる仕組みを、京都市下京区のNPO法人が立ち上げた。寄付にかかわる

幅広い人を省エネ社会を目指す当事者として巻き込む仕掛けだ。購入先の京都御池中(中京区)で27日、初の出前授業を開き、寄付の

府内の保育園や幼稚園へ発電設備の設置を進める「きょうとグリーンファンド」。中京区の学生服専門店「村田堂」と協力した。京都御池中へ制服を販売する同店が、売り上げのうち1着当たり百円を同法人の基金へ寄付する。同法人は、来春から市内の保育園で計画している設置費用に活用する。27日は同中へ講師を派遣し、地球温暖化問題を解説したり、同中にある自然エネルギー利用装置の意義を生徒たちに説明する。同中販売分の寄付額の見込みは2万円程度。総額1千万円を超

す設置費用を考えればの行動で自らの地域のわずかな額だが、同法在り方を変えることに人は「協力企業や制服つながる」と波及効果を着るすべての子どもを期待する。ほかの販売店にも寄付の協力を呼び掛けるという。問い合わせは同法人 ☎075(352)9150。(本田貴信)